

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	ジュニア・リーダー育成事業		
事業担当	健康・こども部 青少年課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	'01	1いのちを大切に作る心もち、社会性や規範意識を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	市内在住の中高生	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：ジュニア・リーダーほか】		
	目的・目標		事業の概要
市内中高生が、青少年リーダーとしての必要な知識や技術を習得するとともに、子ども会等の地域活動へ積極的に参加することで、子どもたちがいきいきできる明るいまちづくりに役立っています。		リーダーとしての知識や技術を習得するため、講習会を開催します。また、ジュニア・リーダーズクラブ入会者には、地域行事への参加機会を提供し、リーダーとしての資質向上を図ります。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	養成講習会開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	6	6	6	6	
	実績	6	6	6		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	ジュニア・リーダー養成達成率			単位	%
	説明・算定式	養成講習会を修了した者のうち、ジュニア・リーダーズクラブへ加入した講習生の割合				
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	70	70	70	70	
	実績	56.3	65.2	56.8		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
養成講習会の開催回数は予定どおり6回をすべて実施しました。養成講習会を修了した者のうち、ジュニア・リーダーズクラブへ加入した講習生の割合は、平成24年度を下回り56.8%でした。						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	市民から多数の派遣依頼があり、市民ニーズがあります。また、ジュニア・リーダーの活動は市の青少年健全育成に大きく寄与しており、地域社会への貢献という点からも必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	養成講習会によりジュニア・リーダーとして地区行事等に積極的に参加できる青少年が数多く輩出され、関係団体への協力や地域社会への参加を通じ、明るいまちづくりに資しており、有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>□ 受益者負担、補助額</li> <li>□ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	少子化や核家族化の進展で、青少年が大人と接する機会が減少し、青少年の健全育成が難しくなっていますが、そうした中で、青少年をリードできる青少年を育成することは、施策として十分な妥当性があります。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>□ コスト削減の可能性</li> <li>□ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	青少年の健全育成については、その性質上、コストの効率性の観点で捉えるのは適切ではありませんが、公益法人等との連携ができれば、一層の活動活性化につながる可能性が考えられます。	● 高 ○ 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 派遣等で実際に活動しているメンバーは減少傾向にあります。派遣等の要請に応えるためにも、養成講習会の講習生の増加に努めるとともに、クラブ入会者率を高めてクラブの活性化を図る必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		講習会等の開催	講習会等の開催	講習会等の開催	講習会等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	488	513	531	724
事業費 (A)		488	513	531	724
執行率 (%)		55.96	67.15	73.14	
内訳	職員 (人)	0.62	0.50	0.50	0.75
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		5,025	4,008	3,974	5,860
フルコスト (A+B)		5,513	4,521	4,505	6,584

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成27年度の取組方針</b> ジュニア・リーダー養成講習会のPRに努めるとともに、養成講習会修了者のジュニア・リーダーズクラブ加入率を高めるように働きかけていきます。また、ジュニア・リーダーの養成から、クラブのサポートまでを継続的に進め、運営の活性化に努めます。
<b>課長コメント</b> 子ども会を始め、地域団体等の事業実施に際し、ジュニア・リーダーの活躍を求め派遣依頼が多数あり、期待も大きいものがあります。そのジュニア・リーダーを養成する講習会は、必要不可欠なものであることから、今後も事業を現状規模で継続していきます。